

プレスリリース
報道関係者各位

2017FY018
2017/11/24
「新しい東北」官民連携推進協議会

「福島の復興は新たな産業創生から」

第 24 回「福島から発信する防災知見と防災・減災の可能性を考える WS」

株式会社 新福島産業創生プロデュースでは、『福島の復興を考える会』として過去 23 回ワークショップを開催しています。連携支援制度を活用して開催した前回の取組では、福島の復興の現状や今後の展望、復興の為には長期に渡って継続的な取組が必要であることを再認識しました。

本取組では防災・減災と災害情報連携システムの活用について、震災時の ICT（情報・通信に関する技術の総称）の仕組みや構築に取り組んでいる講師から状況を学び、震災発生時の情報の伝わり方と伝え方等について議論を深めます。

概要は添付資料および下記の URL をご参照ください。

https://file.www2.hp-ez.com/soseipro/file_20171120-071320.pdf

【本件に関する報道関係の問合せ先】
株式会社 新福島産業創生プロデュース 担当 高橋
TEL : 024-546-1204
HP : <http://sosei-pro.com/>

※当プレスリリースは「新しい東北」官民連携推進協議会の事務局が協議会会員に代わって発信するものであり、内容についてのお問合せは上記問合せ先へお願いします。

復興庁『新しい東北』連携セミナー制度活用

〜〜 ワークショップ開催のご案内 〜

主催 << 福島の復興を考える会 >>

事務局 株式会社 新福島産業創生プロデュース(NFICP)

主題 『福島の復興は新たな産業創生から』

分科会テーマ

「福島から発信する防災知見と防災・減災の可能性を考えるWS」

第24回WS：2017年 11月27日(月)

震災から6年半が経過、福島の復興も新たな展開に進み始めています。
「福島の復興を考える会」に於いても、『福島の復興は新たな産業創生から』を主活動テーマとして数々の具体的なプロジェクトを進めています。
今回、3月に開催いたしました『防災』に関するワークショップをより具体的に進めることを目的に、
◆「第24回 福島から発信する防災知見と防災・減災の可能性を考えるWS」
副題：『防災×医療×ICT=復興産業創生その1』
を、復興庁『新しい東北』事業における「連携セミナー制度」を活用させていただき、開催することになりました。
皆様のご参加をお待ちしております。

分科会 テーマ

◆「第24回 福島から発信する防災知見と
防災・減災の可能性を考えるWS」

副題：『防災×医療×ICT=復興産業創生その1』

日時：2017年 11月27日(月) 13:15~17:00(受付13:00)

場所：“コラッセふくしま”5F特別会議室

* 福島県福島市三原町1-20(福島駅西口)

D・M：“コラッセふくしま”12F“きいちご”

* ワークショップ終了後 18:00~20:00

支援予定：復興庁『新しい東北』連携セミナー制度 申請中

http://www.newtochoku.org/resource/1473999471000/works_renkei/doc2.pdf

◇ WS開催協力費： * ワークショップ開催協力費：5,000円
* ディナー・ミーティング参加費：5,000円
** (消費税込み、事務局名にて領収書を発行いたします。)

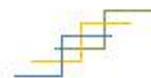
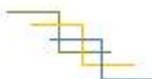
◇ 一般聴講参加者 自由参加

：* 復興庁『新しい東北』連携セミナー制度活用により：無料

議事次第

- ・開会挨拶 13:15～13:20：(株)新福島産業創生プロデュース 代表取締役 高橋 淑彦様
- ・司会進行/ファシリテータ
：NTTコミュニケーションズ(株) マネジメントサービス部担当部長 山内 一郎様
- ・13:20～13:45 (質疑時間分含む)
講師(1)：公益財団法人 福島相双復興推進機構福島相双復興官民合同チーム長 田岡 宗治様
タイトル：「官民合同チームの取組みについて」
- ・13:45～14:10 (質疑時間分含む)
講師(2)：高知医療センター医療情報センター情報システム室 医療情報技師 北村 和之様
タイトル：「高知県における医療ICT活用と今後の展望について」
- ・14:10～14:35 (質疑時間分含む)
講師(3)：高知工科大学 情報学群教授 情報センター長 福本 昌弘様
タイトル：「高知県における医療情報バックアップについて」
- ・14:35～15:00 (質疑時間分含む)
講師(4)：一般社団法人 九州テレコム振興センター 専務理事 広岡 淳二様
タイトル：「熊本地震を振り返って」
- ・15:00～15:25 (質疑時間分含む)
講師(5)：国立研究開発法人 情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター
テストベッド連携企画室 鷹取 耕治様 吉田 一志様
タイトル：「防災・医療×ICT」の研究が地域のために出来る事。」
- ・15:25～15:45：休憩
- 【 パネルディスカッション 】
- ・15:45～16:55 (質疑時間分含む)
冒頭講演「防災・減災に対するICTの可能性」
：NTTコミュニケーションズ株式会社 マネジメントサービス部担当部長 山内 一郎様
- ・パネラー
 - ・ 福島県立医科大学 災害医療部 部長、ふたば救急総合医療支援センター 教授 島田 二郎様
 - ・ 高知医療センター医療情報センター情報システム室 医療情報技師 北村 和之様
 - ・ 高知工科大学 情報学群教授 情報センター長 福本 昌弘様
 - ・ 一般社団法人 九州テレコム振興センター 専務理事 広岡 淳二様
 - ・ 国立研究開発法人 情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター テストベッド連携企画室 鷹取 耕治様 吉田 一志様
- ・開会挨拶 16:55～17:00：株式会社新福島産業創生プロデュース 代表取締役 高橋 淑彦様

【 終了後 ディナーミーティング 】 18:00～



主催 『福島の復興を考える会』

運営事務局



株式会社 新福島産業創生プロデュース(NFICP) 高橋

New fukushima industry creation produce

NFICP

〒 960-1101 福島県福島市大森字西ノ内75-5 H P : <http://sosa-pro.com>

Tel : 024-546-1204 / Fax : 050-3730-4968 / 携 帯 : 090-8256-5803

メール : time.lag-takahashi@s6.dion.ne.jp

◇ 前回、特別会議室での討議の様子 ・ 2月23日(木) 13:15～ ・ 定員50名 ・ 要申し込み

◇ デイナーミーティング 18:00～

・ 過去 23 回、多くの連携事業がこのミーティングから生まれています、ご利用ください。



☆ 申し込みは FAX= 050-3730-4968

又は、メール (返信・ time.lag-takahashi@s6.dion.ne.jp) にてお願いいたします。

☆ 申し込みは、下記申込書に記入するか 同内容を Fax・メール記載にて返信ください。

株式会社 新福島産業創生プロデュース(NFICP)宛

ワークショップ参加申込書

Fax 送信 : 050-3730-4968 ・ メール : time.lag-takahashi@s6.dion.ne.jp

参加希望 所属 _____ 名前 _____

所属 _____ 名前 _____

◇ 第24回 2017年11月27日(月)

◆ 「第24回「福島から発信する防災知見と防災・減災の可能性を考えるWS」

副 題 : 『防災×医療×ICT=復興産業創生その1』

ワークショップ 参加

ディナー・ミーティング 参加

